

大学・短大等との連携事業実施結果報告書

1 実施校 東北公益分科大学

2 . 実施日 平成20年 7月 9日(水) 13時00分から14時30分まで

3 . 実施内容・参加者

講 師 株式会社荘内銀行 須佐恵美氏

内 容 社会人としてのマナー

参加者 3年生、81名

4 . この事業の感想

- 身だしなみで第一印象が変わることがわかった。
- 基本的なことでも一つ一つ見直すことができた。
- わかっていたつもりの事でも「つもり」になっていただけで、できていないことがとても良くわかった。これからは「わかる、知っている」ということは「できること」となるように何気ない日常でも気をつけていきたい。
- 改めてコミュニケーション力を身につけることができた。
- 普段の言葉遣いで間違っているものがあることに気づいた。言葉遣いを日ごろから気をつけて、今から就職に備えておこうと思った。
- 就職だけでなく、普段の生活でも実践して生かすことができると思ったので意識していきたい。
- 声のトーンや笑顔を自然にできるようにしたい。
- アルバイトの接客にも通じるところがあり、とても勉強になった。今日聞いたことを生かしてみようと思う。おじぎや言葉遣いなどはすぐに実践したい。お客様にまた来ていただけるような接客を目指したい。
- $100 - 1 = 0$ というのは、学生と社会人の大きな違いだと思う。学生は結果だけでなく過程も評価されるが、社会人では責任の重さが違うということがわかった。
- 「お客様を選ぶことはできない」という言葉がとても心に残った。
- 「苦手な人ほど、まず自分から一步、歩み寄る」という言葉を心に留めておこうと思う。
- 今日学んだ身だしなみで来週のマナー研修に臨みたい。